

世界ろう空手道オープン選手権大会 2027

実施要項

本大会は、ろう者・難聴者の空手競技の普及・発展および国際交流の推進を目的として開催する国際オープン大会である。国内外のろう・難聴空手選手が一堂に会し、競技を通じて相互理解と友好を深めるとともに、競技力向上および次世代育成を図る。また、東京 2025 デフリンピック開催後のレガシー事業として、デフスポーツおよびデフスポーツへの理解促進、共生社会の実現、多様性尊重の啓発につなげることを目的とする。さらに、日本手話・国際手話等による情報保障を取り入れた「音声が見える大会運営」を実施し、誰もが安心して参加できるインクルーシブなデフスポーツ環境づくりを推進する。

1. 大会名 世界ろう空手道オープン選手権大会 2027
2. 主催 一般社団法人全日本ろう者空手道連盟
3. 運営 一般社団法人全日本ろう者空手道連盟 大会実行委員会
4. 後援 東京都（予定）
足立区
公益財団法人 全日本空手道連盟
一般財団法人 全日本ろうあ連盟
公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構東京都聴覚障害者連盟
公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会
5. 日時 2027 年 2 月 5 日（金）～2 月 6 日（土）
（1）2 月 5 日（金）：公式練習、前夜祭
（2）2 月 6 日（土）：世界ろう空手道オープン選手権大会 2027
※2 月 7 日（日）は第 10 回 JDKF. 空手道競技大会（要項は別紙参照）開催。
6. 会場 東京武道館 大武道場
東京都足立区綾瀬 3 丁目 20-1
7. 参加対象 ろう者・難聴者
8. 競技内容 世界空手連盟（WKF）ルールに準拠し、以下の競技を実施する。
（1）実施種目：個人形、個人組手、団体形、団体組手
（2）その他：出場区分はエントリー状況に応じて調整する場合がある。
9. 競技種目 出場者数によって結合・分割する場合がある
（1）個人形（男女別）
U10（8-9 歳）／U12（10-11 歳）／U14（12-13 歳）／カデット（14-15 歳）
ジュニア（16-17 歳）／シニア（18-40 歳）／マスターズ（41 歳以上）
（2）個人組手（男女別）
U10（8-9 歳）／U12（10-11 歳）／U14（12-13 歳）／カデット（14-15 歳）
ジュニア（16-17 歳）／シニア（18-40 歳）※／マスターズ（41 歳以上）
※シニア体重別
男子：-60kg、-67kg、-75kg、-84kg、+84kg
女子：-50kg、-55kg、-61kg、-68kg、+68kg
（3）団体形（男女混同）
8 歳以上
（4）団体組手（男女別）
18 歳以上
※年齢は 2027 年 2 月 6 日時点とする。団体種目の出場チーム数は制限しない。

10. 競技規定

(1) 共通事項

- 1 世界空手連盟（WKF）ルールに準拠する。
- 2 トーナメント方式で実施する。
- 3 3位決定戦は行わない。
- 4 出場区分はエントリー状況に応じて変更する場合がある。

(2) 形競技

- 1 演武する形は WKF 承認形を基本とする。
- 2 初戦から決勝まで同じ形を繰り返し演武できる。
- 3 選手招集時までに形名申告カードに演武する形名を記入し、係員に提出すること。
- 4 形名の申告は手話または発声にて行う。（手話での申告が望ましい）
- 5 準決勝まで2名同時に演武、決勝戦のみ1名ずつ演武。
ただしプログラム進行によっては決勝戦まで2名同時に演武する場合もある。
- 6 勝敗は審判員7名の多数決により決定する。ただし、必要に応じて審判員が協議し、決定する場合もある。

(3) 団体形競技

- 1 8歳以上の選手においては、男女および年齢区分を問わず混合チームを編成することができる。
- 2 1チーム3名による団体戦（選手の登録は4名まで可とする）
- 3 形は「自由形」とし、分解は行わない。
- 4 初戦から決勝まで同じ形を繰り返し演武できる。
- 5 形名申告カードに演武する形名を記入し、係員に提出すること。
- 6 形名の申告は手話または発声にて行う。（手話での申告が望ましい）

(4) 組手競技

- 1 トーナメント方式で行う。
- 2 3位決定戦は行わない。
- 3 シニア体重別の組手競技時間は、男女ともに3分間フルタイムとする。その他の年齢区分については、別に定める。
- 4 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、規定により先取した選手を決定する。
- 5 監督席の位置について、視覚的情報保障の一環として赤選手および青選手のそれぞれ対角線上に配置する。

(5) 団体組手競技

- 1 18歳以上の選手において、男女別にチームを編成することができる。
- 2 1チーム3名（最低2名）による団体戦とし、それぞれ補欠を2名まで登録することができる。
- 3 3位決定戦は行わない。
- 4 競技時間は3分間フルタイムとする。
- 5 競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、規定により先取した選手を決定する。
- 6 団体組手における勝敗は、各試合の勝利数によって決定し、勝利数の多いチームを勝ちとする。

(6) 安全具

- 1 組手全種目の競技において、WKF または全空連公認の安全具（拳サポーター、ボディプロテクター、インステップガード、シンガード）の着用を必須とする。

- 2 U14 (8-13 歳) の選手については、小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)の使用を認める。
- 3 男子選手 (10 歳以上) はセーフティーカップを必ず着用すること。なお 9 歳未満の選手については任意とする。
- 4 14 歳以上の選手は、マウスピースを必ず着用すること。
- 5 U14 (13 歳以下) の選手は、WKF または全空連公認のヘルメット (メンホー) の着用を必須とする。
- 6 安全具は各自において用意すること。安全具未着用の選手は出場できないため、十分注意すること。なお、安全具の貸し出しは行わない。

(7) 服 装

1 監督・コーチ等

1. トラックスーツ (ジャージ等のウォームアップウェア) またはポロシャツ及びパンツを着用すること。
2. 監督・コーチ・指導者は、ID カードを明示すること (ID カードは、大会前日の受付時に交付する)。

2 選手

1. WKF 公認または全空連公認の白色の空手衣を着用すること。ただし、本大会では申し合わせ事項により、WKF 規則で定める肩ライン付きであることは必須としない。
2. 主催者より配布された国名コード (例: JPN) の胸マークおよびゼッケンをそれぞれの指定位置に縫い付けること。
3. 金属類のヘアーバンド等の着用は認めない。
4. 競技エリアおよびウォームアップエリアにおいては、補聴器、増幅器および人工内耳の外部装置の使用は認めない。

11. 表彰

形・組手両方ともに以下の通り表彰する。

(ア) 種目別毎に第 1 位、第 2 位、第 3 位 (2 名) の選手にメダルを授与する。

(イ) 参加者全員に参加賞を授与する。

12. 出場資格

(1) 選手

ろう者または難聴者であり、本大会の趣旨に賛同し、競技規定に同意のうえ遵守できる選手。

(2) 監督・コーチ

出場選手が所属する道場、クラブ等の監督またはそれに準ずるコーチであること。

13. エントリースケジュール

- (1) 仮エントリーは 4 月 27 日 (月) ~ 5 月 30 日 (土) までとする。
- (2) 最終エントリーは 8 月 1 日 (土) ~ 9 月 30 日 (水) までとする。
- (3) 最終エントリー締切後のキャンセル、変更は 11 月 30 日 (月) までとする。
- (4) 次のいずれかの方法でエントリーをすること。

1 団体で申し込む場合 (選手が 2 名以上の場合)

※選手が 2 名以上の場合は団体としてお申し込みください。

所定の「出場申込書 (様式 1)」に必要事項を記入し、メールに添付して提出すること。

【申込先】 wdko2027@jdkf.jp

2 個人で申し込む場合

下記の URL にアクセスし、「個人出場申込フォーム」に必須事項を入力の上、申込むこと。

【個人出場申込フォーム】 <https://forms.gle/AMCGL1tQDPpCCpC6A>

※所属先のコーチ・責任者に出場許可を得たうえで申し込んでください。

14. エントリー費用

(1) エントリー費用

選手・コーチ 1名につき 12,000円

(2) エントリー費用に含まれるもの

前夜祭参加費、2月6日 WDK0 大会参加費、3日間の公式 ID パス、大会記念品

(3) その他

・宿泊費、食事代、交通費等については別途自己負担とする。

・2月7日開催の第10回 JDKF. 空手道競技大会に参加希望の場合、別料金を支払うこと。

(4) 送金期限

2026年11月30日(月)までとする。

(5) 送金先

エントリー受付後、参加者または各参加団体代表者へ別途通知する。

15. 健康・安全管理

(1) 参加者は自己責任において健康管理を行うこと。

(2) 競技中の事故について、主催者は応急処置のみ行う。

(3) 応急処置の後、症状により救急病院での診察治療も必要となることも考慮し、選手は健康保険証等、治療に要するものを必ず携行すること。

(4) 主催者にて大会期間中の傷害保険に加入する。補償内容は、死亡・後遺障害、入院、通院等を対象とし、補償範囲は主催者が加入する保険契約の範囲内とする。なお、補償限度額を超える損害、既往症、参加者自身の故意または重大な過失による事故等について、主催者は一切の責任を負わないものとする。

(5) 感染症対策については、国・自治体・施設管理者の方針に従う。

16. 参加者として遵守すべき事項

(1) 観客席について

1. 土足厳禁のため、上履きを持参すること。(入館時に靴を脱ぐこと)

2. 団体ごとに指定された席を利用すること。(観客席マップを後日周知予定)

(2) 武道場面(アリーナ)について

1. 公式 ID パスを所持している者のみアリーナへの立ち入りを認める。

2. 土足厳禁のため、上履きを持参すること。(入館時に靴を脱ぐこと)

17. その他

(1) 本大会への申込書に記入された個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、本大会の運営および参加調整事務にのみ使用する。また、不要となった個人情報については、主催者の責任において適切に廃棄する。

(2) 本大会の共通言語は、国際手話および日本手話とする。

(3) 胸マークおよびゼッケンは主催者が作成し、公式練習日に配付する。

(4) 宿泊手配については大会指定ホテルのみ斡旋を行うものとし、その他のホテルについては斡旋を行わない。

以上